

【車両周辺の興味データ取得】 Apple

①要約：

このアイデアは、ドライバーが興味を持つ対象を自動で検知し、それをカメラでキャプチャーするシステムです。これにより、運転中のよそ見や危険な操作を減らし、興味を持った対象を後で確認・共有することができます。

②目的：

このアイデアの目的は、安全運転を促進し、ドライバーが興味を持つものを効果的に記録・共有することにより、興味のある情報や体験を後で再確認できる環境を提供することです。

③新規性：

このアイデアの新規性は、自動で興味を検知してキャプチャーするシステムがドライバーの安全と利便性を両立させる点にあります。また、自動運転車両との連携でドライバーの視線や興味のある方向を認識し、記録して活用する点が新しいアプローチです。

④独自性：

このアイデアの独自性は、ドライバーの興味を自動で検知する技術や、その情報を記録・共有するシステムが他にはない点であり、Apple や他の自動車メーカーとの連携により独自性を高めています。

⑤経済価値：

このアイデアの経済価値は、安全運転の促進による交通事故の減少や、ドライバーの興味に合わせた情報提供による顧客満足度向上など、様々な面で経済的な利益が見込まれます。また、自動車業界への新しい付加価値を提供することで市場競争力を高めることが期待されます。